
ポア口探偵事務所

白雨 神威

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポアロ探偵事務所

【Nコード】

N1743L

【作者名】

白雨 神威

【あらすじ】

平和に過していた、八竜達ポアロ探偵事務所はある奇妙な殺人事件の解決を依頼される。そこで待ち受けていたのは、恐ろしい事件の数々……。以外な結末……。

八竜達はこの事件を無事解決できるのか！？

：序章：（前書き）

初投稿です。私は文章能力が皆無です。ですので、誤字脱字等の間違いが多々あると思いますが、暖かい目で見守って下さい。

「意味が分からない」、「この字、何て読むの？」などの疑問が御座いましたら、ドンドン言って下さい。

：序章：

ここは、とある1つの島。その名前を人柱島じんちゆうじまと言う・・・
はるか昔、この島は神様の怒りを静めるため数多くの人柱いけにえを生贄として捧げていたのであった。

その、人柱島に伝わる民謡が・・・

「イチバンメ アリスハ イサマシク・・・」

バサバサバサ・・・

「フッフッフッフ・・・スベテハアノヒトノタメ・・・」

「ああゝ暇！何かないか！？」

「確かに・・・で、というか暑すぎでしょ、最近仕事もないし・・・」

「仕方ありませんよ。ここは、いつも平和ですから」

どうも、僕はポアロ探偵事務所の相守八竜あいもりやりゆうと言います。言葉遣いの悪い男の子は、吉山雄哉よしやまゆうやで、事務所で唯一の女の子の岩白彩いわしろさいです。これから、ポアロ探偵事務所についてお話しましょう。

この、ポアロ探偵事務所は僕の父（相守財閥 社長）からの支援で出来ています。ただのビルを改装しただけです、三千万くらいですかね。僕は、もつと設備を整えたいのですが雄哉君と彩さんの反対で叶いませんでした…。話が逸れてしまいましたね。

次は、僕の性格のお話をしましょう。僕、普段はおっとりでゆつくりしていると言われるのですが、ある条件になると、全く正反対の性格になってしまうんです。それは、お話を読み進めていけばお分かりになるでしょう。

彩さんは、剣道十段、柔道黒帯、空手九段と見た目とは裏腹にとてもお強いんです。それに、髪も長くて綺麗ですよ（僕は変態とかで

はないですよ！)

雄哉君、実は天才ハッカーなんです！度々、警察の未解決極秘ファイルに忍び込んでちょっと捜査の手引きをしたりしてました。良い子みなさんは、真似しないで下さいね！

ところで、何故僕達がこんなに暇そうにしているかと言うと仕事が出来ないんです。

依頼をしてくれる依頼者が居ないと僕達は何もする事がないんです。先ほど警察のファイルに忍び込んでいたと言う話をしましたが、この事が僕のお父さんに見つかって、大目玉をくらってしまい今まで通りに仕事が出来なくなっただけです。まあ、一応新聞で依頼者を募集してみましたか・・・依頼、来ますかねえ？

：始まり：（前書き）

ハイ…すいませんww

またまた私のような未熟者がこのような小説を書いてしまつて…
でもでも、頑張つて書くので、読んでください！
お願いします！

：始まり：

コンコンコン

おっと、誰か来たようですね。誰でしょうか……？

「どうぞ開いてますので、お入り下さい。」

「失礼します。あの、新聞を見てこちらに来たんですけど、ここってポアロ探偵事務所で合ってますか？依頼をしに来たのですが。」

「……き、来ました！！！！久しぶりの依頼です！！！！新聞の力恐るべし！ですね！では早速依頼の内容を聞いてみましょう。」

「どうぞ、おかけ下さい。えっと……お名前は？」

「あつ、申し遅れました。私は天崎あまやき 空そらと言います。」

ある事件について捜査して頂きたいんです。」

彼女そらさんはつい最近起こった不可解な事件を解決して欲しいとの依頼でした。

事件の場所は人柱島。周囲を霧に覆われている不気味な島だ。

事件の被害者は中川なかがわ 芽衣子めいこさん。

勝気な性格で親戚等からもあまり好かれてはいない存在のようだった。

そして彼女の殺され方。

まず、心臓を鋭利な刃物で刺されていて即死。

遺体の周りには真っ赤な花が散りばめられており、手には血の付い

た剣が握られていた。

奇妙なのはこれだ。

遺体の近くに血のようなもので

『ヒトリメ、ミーツケタ』と書かれていた。

僕の見解からすると、一人目と言うことは、まだ被害者が出るかもしれないね……

「さあ！皆さん着きましたよ！！久しぶりの依頼ですので張り切って行きましょう！！」

僕達は空さんに案内されて、早速人柱島にやって来ました！

「ねえ、八竜…久しぶりの登場の所なんだけど、船酔いで気分が悪いわ…」

「お、俺もだ…せっかくセリフがあったと思ったら…船酔いだぜ…」

あ、そうでしたね。

彩さんは船に弱かったんですね！失敗です。

雄哉君は乗り物全般ダメですよねえ。僕とした事が忘れてました。

では、不可思議な事件の解決へ！
レッツ・ゴーです！

：始まり：（後書き）

はあゝ

さてそろそろ事件に突入ですね！！張り切って書きたいと思いま
すw

ではまたなにかの作品でえ（?????）ノ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1743/>

ポアロ探偵事務所

2010年12月8日16時54分発行